会 議 議 事 録（要旨）

1　会議名	令和８年度　第２回　長岡市地域公共交通協議会
2　開催日時	令和８年 10 月１日（木曜日）午後１時 30 分～
3　開催場所	米百俵プレイス ミライエ長岡西館５階　スタジオＡ・Ｂ
4　出席者名	太刀川会長、佐野副会長、大関委員、中山委員（代理：佐山様）、橋本委員、小川委員、小出委員、井上委員、岩崎委員、南雲委員（代理：渡邉様）、山本委員、小林委員、大村委員、吉岡委員、大平委員、横澤委員 【欠席】なし
5　議決事項	（1）桂地区及び宮路・乙吉地区児童の通学車両に関する路線バス停留所の使用について
6　協議事項	（1）長岡市地域公共交通計画策定準備業務の調査報告
7　協議結果の概要	・議決事項（1）について承認された。
8　審議の内容	
【議決事項】	（1）桂地区及び宮路・乙吉地区児童の通学車両に関する路線バス停留所の使用について
事務局	資料に基づき、議決事項（1）を説明。 （質疑応答なし）
会長	・議決事項（1）を承認してよいか。 （承認された）
【協議事項】	（1）長岡市地域公共交通計画策定準備業務の調査報告
事務局	資料に基づき、位置情報ビッグデータから見た交通流動及び公共交通に関するアンケート調査の結果を説明 （以下、質疑応答）
副会長	・位置情報ビッグデータのサンプリングの割合はどの程度か。また、調査日数、トリップ数及びユニークユーザー数から算出される１人１日当たりの平均トリップ数と、一般的な調査で示される平均トリップ数との整合性を確認したい。 ・今回の OD は交通手段を問わない移動全体を示していると思うが、時刻等の情報からバスで移動した人を識別することはできない

	か。また、住宅地で発着地の集中が大きい箇所が見られる理由を教えてほしい。 ・アンケートは、高齢者、公共交通利用者、高校生の 3 種類の調査結果をまとめて集計しているのか。高校生が回答の約半数を占めているため、その影響を考慮する必要がある。
事務局	・地域ごとの人口に対するユーザー数の割合は、おおむね 2～6%となっている。1 人 1 日当たりの平均トリップ数の整合性については、データ提供会社にも確認する。 ・今回のデータは発着地の情報であり、自宅からバス停までの移動等の途中の情報はないため、バス利用との紐付けには限界がある。時刻等との照合により一部を把握できる可能性はあるが、もともとの抽出率に加え、バスの分担率も小さいため、対象数が非常に少なくなる。今回はバス利用者だけの傾向ではなく、自動車を含めた移動全体の流動を把握するものと考えている。 ・住宅地等への集中については、人口が少ない地域では、特定の少数の方の行動が強く反映される場合があるとデータ提供会社から聞いている。一方で、集落内の飲食店等が目的地となっている場合も考えられる。 ・アンケートは 3 種類の調査を合わせて集計しており、高校生が約半数を占めるなど、交通弱者を中心とした構成となっている。今後、適宜クロス集計等を行いながら傾向を分析していく。
委員	・協議会は議論を行う場であるため、調査結果の報告だけでなく、市として結果をどう受け止め、次期計画にどう反映していくのかを示してほしい。 ・アンケート回答者は 10 歳代及び 60 歳代以上が大半を占めている。働く世代へのアンケートを今後実施する予定はあるか。また、前回の計画策定時から人口動態や住民意識等がどのように変化したか、比較する必要もあるのではないか。 ・改善要望や満足度の低い地域について、市はどのように認識し、今後どう対応しようと考えているのか。あわせて、移動データと既存の路線を重ね合わせ、現在の公共交通が移動需要をどこまでカバーできているかを深掘りする考えはあるか。
事務局	・今回の資料は中間報告であり、ほかの現況整理や調査も進めている。前回の計画策定時にはなかった新たな取組として、位置情報ビッグデータを用いた分析を紹介した。今後、ほかの現況整理と合わせて、さらに深掘りした分析を行う。

	・働く世代への追加アンケートは、現時点では予定していない。本市の公共交通の主な利用者である高校生及び高齢者を中心にアンケートを実施している。アンケートでカバーできない移動全体の流れをビッグデータで把握し、両者を組み合わせて分析を進めたい。 ・中心部から離れた地域の満足度が低いことは、市の認識とも一致している。デマンド交通等で最低限の生活の移動を確保している地域でも、通勤・通学等は自動車や家族による送迎に依存している実態があり、それが満足度にも表れていると受け止めている。 ・今回得られた移動データを有効に活用し、施策につながる分析を受託事業者と検討するとともに、委員の意見をいただきながら計画策定を進めたい。
委員	・追加のアンケートを予定していないのであれば、今回のアンケート及びデータ分析が今後の課題抽出の基礎となるため、引き続き十分に議論してほしい。
委員	・ブログウォッチャー社が提供する位置情報データは、同社に登録した人だけが対象なのか。どのように取得したデータなのかを教えてほしい。 ・今回の調査結果は、令和 10 年度からの次期地域公共交通計画の策定準備として整理しているという理解でよいか。
事務局	・スマートフォンのアプリの利用時に、位置情報の提供に同意した方のデータを収集し、重複等を整理したものである。対象アプリは 100 種類以上と聞いているが、具体的なアプリ名は公表されていない。 ・今回のビッグデータ分析及びアンケート調査の結果は、今年度及び来年度の 2 か年で策定する次期計画の基礎資料となる。
委員	・アンケートは郵送又は直接回収と Web 回答を併用しているが、調査ごとの Web 回答の割合を教えてほしい。高校生は Web 回答が多いのではないか。
事務局	・Web 回答の割合は、高齢者及び公共交通利用者を対象とした調査では 10.4%、高校生を対象とした調査では 6.6%である。 ・高校生については、回収率を高めるため、学校の先生にその場での回収を依頼し、直接回収を主体としたことから、Web 回答の割合が低くなっている。

委員	・アンケートの改善要望等で用いている「公共交通」は、具体的に何を指しているのか。
事務局	・今回のアンケートでは、路線バス及び各地域の地域生活交通の計7種類を選択肢として利用状況を尋ねた上で、改善要望を聞いている。このため、回答者は、それらの交通について回答している。
会長	・本日の意見を踏まえて検討を進め、次回以降の報告や資料にも反映していきたい。
副会長	・本日の説明内容は、9 月 15 日まで実施した各種調査を短期間でまとめた中間報告であると認識している。今回紹介されていない内容も含めてさらに深掘りし、施策につながる知見を得てほしい。
【その他】	(1) 次回協議会の開催について
事務局	・次回協議会は令和9年2月頃の開催を予定している。その間、必要に応じて書面協議を行うため、協力をお願いしたい。 (以上)

■協議会の様子







